

7. 中小小売商業高度化事業、特定商業施設等整備事業、民間中心市街地商業活性化事業、中心市街地特例通訳案内士育成等事業その他の経済活力の向上のための事業及び措置に関する事項

[1] 経済活力の向上の必要性

I 現状分析

富良野市はJR富良野駅前周辺を中心に商店街が形成されてきたが、モータリゼーションの進展、住宅の郊外化による都市構造の変化、周辺中核都市における大型店進出による消費動向の変化などにより、中心市街地の商業は厳しい状況にある。事業所数は平成11年から平成14年にかけて約14%、平成14年度から平成16年度にかけては約20%の減少となり、販売額では平成16年と平成9年を比べると42%の落ち込みとなって、空き地、空き店舗も増加している。

しかし、こうした現状でありながら、相生商店街、五条商店街は依然として中心となる商店街としての機能を持ち続けている。

II 経済活力の向上のための事業及び措置の必要性

富良野駅前地区土地区画整理事業の関連事業として完成した「富良野市中心街活性化センター（ふらっと）」は複合核施設として利用計画で予定していた48,000人を大きく上回る利用客が見込まれ賑わいを創出し、その周辺に新しい流れを生み出している。こうしたことから商店主の意識改革を通じ、個店の魅力づくり、地域の住民などを惹きつける魅力の創出、商店街の情報化などを積極的に進めていく必要がある。

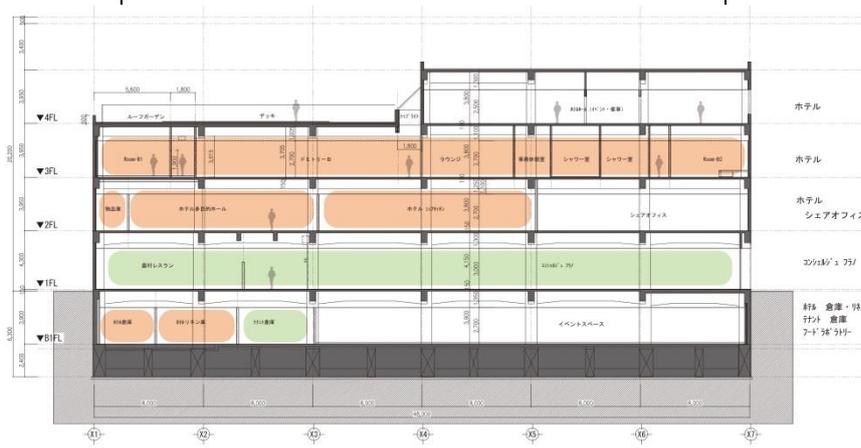
■「フラノ・マルシェ2」整備事業

■中心市街活性化イベント事業「北海へそ祭り」「ふらのワインぶどう祭り in まちなか」

[2] 具体的事業等の内容

(1) 法に定める特別の措置に関連する事業等

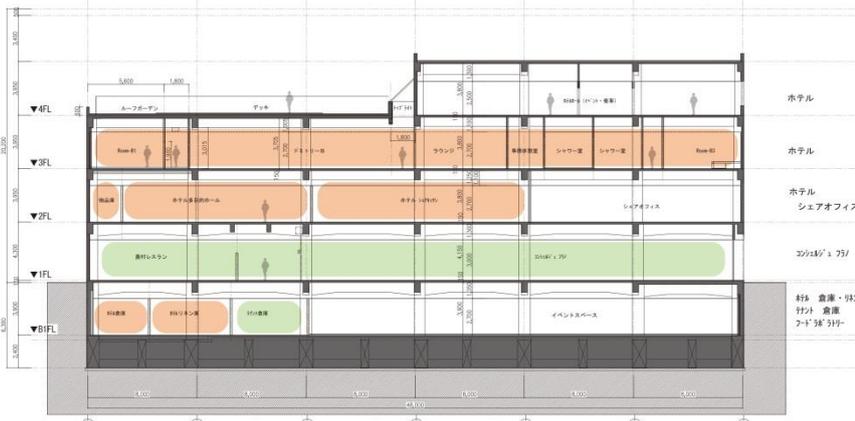
事業名、内容及び実施時期	実施主体	目標達成のための位置付け及び必要性	支援措置の内容及び実施時期	その他の事項
<p>事業名： 「フラノ・マルシェ2」整備事業</p> <p>内容： 市街地再開発による商業床取得及び店舗等整備</p> <p>実施時期 H26</p>	<p>コミュニ ティマネ ジメント 株式会社</p>	<p>本事業は、市街地再開発事業による商業床を取得により、新規出店舗数の増加及び、小売店舗数の集積を図り、一般市民が歩いて用がたせる利便性に富んだ市街地を創出する。この事業による集客力増加が期待され、賑わいを創出するために必要な事業である。</p> 	<p><u>支援措置</u> 特定商業施設等整備事業に係る特定民間中心市街地経済活力向上事業計画の経済産業省大臣認定</p> <p><u>実施時期</u> 平成26年度</p>	<p>中心市街地再興戦略事業費補助金を活用</p>
<p>事業名： 「(仮称)フラノ・コンシェルジュ」整備事業</p> <p>内容： 空き店舗ビル取得及びリノベーションによる中心市街地商店街コンシェルジュ</p>	<p>ふらのまちづくり株式会社</p>	<p>本事業は、空き店舗ビルを取得し、来街観光客及び市民に対しての中心市街地商店街コンシェルジュ機能を核として、美瑛・富良野ブランド観光圏コンシェルジュにも対応させ、各階層には、商店街イベントスペース、バックパッカータイプ宿泊施設、新規起業商業者及び富良野ネットオフィスなど商業支援機能等オフィス、キッズ室内多機能広場を配置することにより、集客力増加が期待され、商店街歩行者通行量の増加による賑わいを創出するために必要な事業である。</p>	<p><u>支援措置</u> 特定民間中心市街地経済活力向上事業計画の経済産業大臣認定</p> <p><u>実施時期</u> 平成28年度～平成29年度</p>	<p>地域未来投資促進事業費補助金(まちなか集客力向上支援事業)又は地域・まちなか商業活性化支援事業費</p>

<p>施設整備</p> <p>実施時期 H28～ H29</p>		<p>補助金 (中心市街地再興戦略事業)のうち先導的・実証的事業を活用 使用特例措置建築物及び構築物を取得した際の割増償却制度、不動産の取得又は建物の建築をした際の登録免許税の軽減</p>
 <p>断面図 1 (Y2-Y3間)</p>		

(2) ①認定と連携した支援措置のうち、認定と連携した特例措置に関連する事業

事業名、内容及び実施時期	実施主体	目標達成のための位置付け及び必要性	支援措置の内容及び実施時期	その他の事項
<p>(再掲) 事業名： 「フラノ・マルシェ2」整備事業</p>	<p>コミュニ ティマネ ジメント 株式会社</p>	<p>本事業は、市街地再開発事業による商業床を取得により、新規出店舗数の増加及び、小売店舗数の集積を図り、一般市民が歩いて用がたせる利便性に富んだ市街地を創出する。この事業による集客力増加が期待され、賑わいを創出するために必要な事業で</p>	<p><u>支援措置</u> 中心市街地再興戦略事業費補助金</p>	

<p>内容： 市街地再開発による商業床取得及び店舗等整備</p> <p>実施時期 H26</p>	<p>ある。</p>		<p>実施時期 平成26年度</p>	
<p>事業名： (再掲) 「(仮称) フラノ・コンシェルジュ」整備事業</p> <p>内容： 空き店舗ビル取得及びリノベーションによる中心市街地商店街コンシェルジュ施設整備</p>	<p>ふらのまちづくり株式会社</p>	<p>本事業は、空き店舗ビルを取得し、来街観光客及び市民に対しての中心市街地商店街コンシェルジュ機能を核として、美瑛・富良野ブランド観光圏コンシェルジュにも対応させ、各階層には、商店街イベントスペース、バックパッカータイプ宿泊施設、新規起業事業者及び富良野ネットオフィスなど商業支援機能等オフィス、キッズ室内多機能広場を配置することにより、集客力増加が期待され、商店街歩行者通行量の増加による賑わいを創出するために必要な事業である。</p>	<p>支援措置 地域未来投資促進事業費補助金(まちなか集客力向上支援事業)又は地域・まちなか商業活性化支援事業費補助金(中心市街地再興戦略事業)のうち先導的・実証的の事業</p> <p>実施時期</p>	<p>使用特例措置 建築物及び構築物を取得した際の割増償却制度及び不動産の取得又は建物の建築をした際の登録免許税の軽</p>

<p>実施時期 H28～ H29</p>		 <p>断面図 1 (Y2-Y3間)</p>	<p>平成28年 度～ 平成29年 度</p>	<p>減 実施時 期 H29～</p>
<p>事業名： 中心市街 活性化イ ベント事 業「北海 へそ祭り」</p> <p>内容： お腹を顔 に見たて て踊るユ ニークな 「北海へ そ祭り」 毎年7月 28日・2 9日開催</p> <p>実施時期： H26～32 年度</p>	<p>北海へそ 祭り実行 委員会</p>	<p>本事業は、毎年7月28日、29日に、相生通をお祭り会場として、お腹を顔に見たてて「まちなか」を踊る、ユニークなお祭り「北海へそ祭り」は、市民が誇れる郷土のお祭りとして、また、北海道を代表するお祭りとして発展してきている。平成25年度は70,000人の来場となった。</p> <p>中心市街地での開催は中心市街地商店街に市民や観光客等の集客、流入が図られることから中心市街地活性化に必要な事業である。</p> 	<p><u>支援措置</u> 中心市街地 活性化ソフ ト事業</p> <p>北海へそ祭 り実行委員 会補助</p> <p><u>実施時期</u> 平成26年 度～ 平成31年 度</p>	

<p>事業名： 中心市街地活性化イベント事業 「ふらのワインぶどう祭り in まちなか」</p> <p>内容： ワインブドウ収穫の感謝こめてワイン・果汁に地元特産品、農産物料理提供によるお祭り</p> <p>実施時期： H26～32年度</p>	<p>ふらのワインぶどう祭り実行委員会</p>	<p>本事業は、1987年にワインの原料である「ぶどう」が無事収穫をできることへの感謝と「ふらのワイン」を支えてくれる市民や観光客への感謝イベントとして、毎年9月第3日曜日に郊外の清水山で開催していたが、中心市街地、商店街への賑わい再生を目的に平成19年度より会場をまちなかに移し、ふらのワイン、ふらの果汁を低料金で提供し、富良野の特産品、農産物を使用した料理を提供し、平成19年度は5,000人の来場となった。</p> <p>中心市街地で開催することにより、中心市街地商店街に市民や観光客等の集客、流入が図られることから中心市街地活性化に必要な事業である。</p> <p>【ふらのワインぶどう祭り in まちなか 2007】</p> 	<p><u>支援措置</u> 中心市街地活性化ソフト事業</p> <p>ふらのワインぶどう祭り実行委員会補助</p> <p><u>実施時期</u> 平成26年度～ 平成31年度</p>	
--	-------------------------	--	--	--

(2) ②認定と連携した支援措置のうち、認定と連携した重点的な支援措置に関連する事業  
該当なし

(3) 中心市街地の活性化に資するその他の支援措置に関連する事業  
該当なし

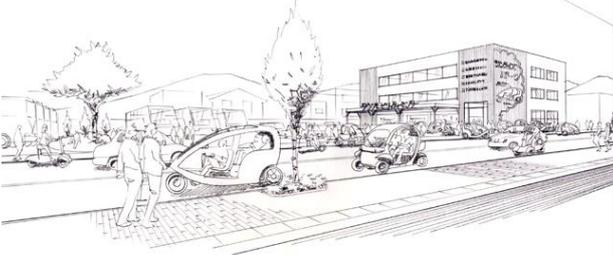
(4) 国の支援がないその他の事業

事業名、内容及び実施時期	実施主体	目標達成のための位置付け及び必要性	国以外の支援措置の内容及び実施時期	その他の事項
事業名：	富良野商工	■まちの話題情報お届け事業		

<p>「どんと ま と め て！」ま ちなか活 性化事業</p> <p>内容： 各種活 性化事業(賑 わいの脚 本・演出事 業)</p> <p>実 施 時 期： H26～30 年度</p>	<p>会議所</p>	<p>本事業は、各個店や団体の情報を一元化し 全国に富良野の“まちの話題情報”を発信す ることにより、旬の話題を提供する。このこ とは商業等の活性化に寄与するための必要な 事業である。</p> <p>具体的な活動のため</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ふらの観光協会との連携</li> <li>・旅館組合（2団体）との連携</li> <li>・富良野料飲店組合との連携</li> <li>・FMふらの（ローカルFM局）との連携</li> <li>・行政との連携</li> <li>・公共交通機関との連携</li> </ul> <p>を行う。</p> <p>市民にとっても日常生活に利用できる情報 発信と観光客をおもてなしする情報発信によ り中心市街地の活性化を図る。</p> <p>○事業内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ホームページの更新</li> </ul> <p>■おもてなしづくり事業</p> <p>本事業は、中心市街地の回遊性を高める目 的に市内マップを作成する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ジャンル別マップ</li> <li>・利用者の口コミをマップ化</li> </ul> <p>まちなかの賑わい創出には必要な事業であ る。</p> <p>○事業内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ふらのタウンマップ作成</li> <li>・PR映像の作成</li> <li>・チラシボックスの設置</li> </ul> <p>■ギャラリーロード事業</p> <p>本事業は、中心市街地の回遊性を高め、賑 わいを創出するために、相生通・東5条通・ すずらん通り沿いの各個店のショーウインド をギャラリー化し、市民も観光客も通りを散 策する楽しみを提供することで歩行者や自転 車通行量を高める活性化には必要な事業であ る。</p> <p>○事業内容</p>		
--	------------	--	--	--

		相生通・東5条通・すずらん通り沿いの個店のショーウィンドをギャラリーとして整備する。		
<p>事業名：「無頭川モール」(イベント空間) 賑わい推進事業</p> <p>内容：「無頭川モール」を活用した各種イベント事業企画・開催</p> <p>実施時期：H20年度～</p>	<p>ふらのまちづくり株式会社</p>	<p>本事業は、富良野市中心街活性化センター(ふらっと)隣接地の「無頭川モール」(イベント空間)を活用し、沿線商店街、市民実行委員会、民間団体と連携し、夏期間中はビヤガーデン、フリーマーケット、屋台村、まちなか演奏会(ブラスバンド)と、通年的にイベントを開催し、ギャラリー・ロード事業など各種ソフト事業と連動させ、野外イベント空間としての拡充を図り、賑わい創出を目標とする中心市街地の活性化に必要な事業である。</p>		
<p>事業名：イブニングシャトルバス(旧名：外国人観光客満足度向上事業)</p> <p>内容：郊外地と中心市街地間のシャトルバス</p>	<p>富良野観光協会</p>	<p>本事業は、冬期長期滞在型外国人観光客などに対して、長期滞在する中で地元住民との交流促進を図る目的で、郊外スキー場宿泊施設地域と中心市街地間にシャトルバスを運行し、中心市街地への回遊を促進させる事業であり、賑わい創出を目標とする中心市街地の活性化に必要な事業である。</p> <p>期間 12月20日～3月15日</p> <p>H25利用者数 74,648人</p>		

<p>ス運行</p> <p>実施時期： H19年度 ～</p>				
<p>事業名： グリーン・フラッグ推進事業</p> <p>内容： 地産地消推進・まちなか回遊性イベント</p> <p>実施時期： H20年度 ～</p>	<p>ふらのまちづくり株式会社</p>	<p>本事業は、地元こだわった料理（地元食材）の開発を行い、認定を行う。</p> <p>認定された飲食店にはグリーン・フラッグを贈呈し店頭に掲示してもらい、地元食材の利用促進と市民や観光客には店選びのイベント性を高め、地域資源「ふらのブランド」開発との連動とも重なり、歩行者通行量の拡大を図り賑わいの創出を目標とする中心市街地の活性化に必要な事業である。</p> <div data-bbox="751 891 1209 1133" style="text-align: center;"> </div>		
<p>事業名： 富良野イベントコーディネート事業</p> <p>内容： イベントコーディネート</p> <p>実施時期： H26年度 ～</p>	<p>ふらのまちづくり株式会社</p>	<p>本事業は「ふらのまちづくり株式会社」が、富良野市内で行われる各商店街事業及び各種イベント事業をトータル的にコーディネート担当として関わり、市民はもとより、マスメディアへの広報・PR活動により、中心市街地への来街者を促進させ、賑わい創出を目標とする中心市街地の活性化に必要な事業である。</p> <p>想定されるイベント事業名</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・フリーマーケット</li> <li>・定期演奏会</li> <li>・農産物直売</li> <li>・キャンドルナイト・イルミネーション</li> <li>・ふらの屋台市場</li> <li>・各実行委員会主催イベント連携</li> </ul> <p style="margin-left: 40px;">北海へそ祭り（7月）</p> <p style="margin-left: 40px;">ワインぶどう祭り（9月）</p>		

		<ul style="list-style-type: none"> <li>各商店会主催イベント連携 まちなか盆踊り（8月） ハロウィン（10月） わいわい祭り（2月）</li> </ul>		
<p>事業名： まちなか パーク&amp; ライド事 業</p> <p>内容： サンライ ズ・パーク に駐車し て電動三 輪車・自転 車による まちなか 回遊を促 進させる。</p> <p>実施時期 H31年度 ～</p>	<p>ふらのまち づくり株式 会社</p>	<p>本事業は、「まちなか駐車場」に「まちなかパーク&amp;ライド」の拠点を隣接させ、高齢者、観光客に電動三輪車、自転車を提供（有料）することにより、まちなか回遊の利便性を高め、自転車通行量の増加を目指し、賑わいを創出することで活性化には必要な事業である。</p> 	<p>実施時期 平成31 年度～</p>	
<p>事業名： まち歩き 周遊ガイ ドマップ 事業</p> <p>内容： まち歩き ガイドマ ップ作成</p> <p>実施時期 H27年度 ～</p>	<p>富良野商工 会議所</p>	<p>本事業は、観光に訪れた外国人へのアンケート調査結果から、外国から富良野に訪れた目的は、特に目的地をリサーチし訪れているのではなく、「まずは富良野に」「まずは駅前に」と回答されている方がたいへん多く、逆に「中心市街地には何があるの？」と聞き返されることが多いことが報告されている。そうした観光客に対応が出来る「まちめぐりマップ」等、多様な情報を提供できれば、まちなか回遊に結びつくものと推測され、中心市街地の賑わい創出を目標とする中心市街地の活性化に必要な事業である。</p>		

<p>事業名： 商店街魅力アップ事業「まちゼミ」</p> <p>内容： 市内商店街「まちゼミ」開催</p> <p>実施時期 H25年度～</p>	<p>富良野商工会議所</p>	<p>本事業は、店主と消費者が直接つながる、ファン（常連客）を増やすことを目標に、富良野商工会議所が店主を対象に「まちゼミのための実践セミナー」を開催し、店主プロならでの専門的な知識や情報を消費者に伝えるコツの研修を受け、富良野商工会議所が設定した“まちゼミ”期間中に、各商店が消費者を対象に、得する街のゼミナール“まちゼミ”を実施。</p> <p>「お客様」「お店」「まち」の三方よし事業として商店街のエリアのお店の存在・特徴を知っていただくと共に、お店（店主やスタッフ）とお客様のコミュニケーションの場から信頼関係を築き、中心市街地エリア全体のイメージアップにつながり、賑わいの創出を目標とする中心市街地の活性化に必要な事業である。</p>		
<p>事業名： ふらのブランド商品開発展開事業</p> <p>内容： 新しいブランドイメージ構築</p> <p>実施時期 H20年度～</p>	<p>富良野商工会議所</p>	<p>本事業は行政、観光協会、ふらのまちづくり株式会社、商店街等とともに「ふらのブランド検討委員会」を組織し、周辺広域観光拠点との連携による情報発信力を活かしながら実施体制を構築し、地域資源を活用した産業ブランド化を目指し、ブランド構築の担い手を地元の中で育成するべく研究する事業で、商業者の意識改革とともに市街地の新たな魅力創出が期待でき、来街客の誘引と、これに対応した商業者の取り組みが根付くことで中心市街地の活性化に必要な事業である。</p>		
<p>事業名： 富良野オムカレー推進事業</p>	<p>富良野オムカレー協議会</p>	<p>本事業は、農畜産物や米、ワイン・チーズ等の特産品など食材が豊かでありながら、これといった「食」が存在しなかったことから、スパイス以外はオール富良野産で食材が調達でき、日本の食文化に浸透、食農教育にも取り組みやすい「カレー」に着眼したなかで、</p>		



<p>実施時期 H27年度 ～</p>		<p>・商店街魅力アップ事業「まちゼミ」</p>		
<p>事業名： 小売商業 振興対策 事業</p> <p>内容： 市内共通 商品券発 行により 「バイふ らの運 動」推進 を図る。</p> <p>実施時期 H18年度 ～</p>	<p>富良野商工 会議所・山部 商工会</p>	<p>本事業は、地元消費・地元商店の利用促進を図るために富良野市内共通商品券を発行して「バイふらの運動」の推進を図る。また、「バイふらの運動推進セール」やふらの市内共通商品券を活用したイベントを実施し、共に消費者（市民）の利便性の向上を図り、大型店対策及び消費者流出防止対策の一環として、地元商店の魅力づくりを支援するもので、中心市街の活性化には必要な事業である。</p> <div data-bbox="743 772 1169 1070" data-label="Image"> </div>		
<p>事業名： 地域振興 消費拡大 推進事業</p> <p>内容： 市内共通 商品券プ レミアム 商品券発 行支援</p> <p>実施時期 H26～29 年度</p>	<p>富良野市</p>	<p>富良野商工会議所が、市内の経済状況を勘案しながら地域経済の活性化を目的として歳末商戦に合わせて実施（平成21年度から）してきたプレミアム商品券発行に対し、地域消費拡大による商業振興を目的に、プレミアム拡大分について補助金として支援を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域振興消費拡大推進事業補助金 年額1,000万円（H26～H29 4年間）</li> </ul>		
<p>事業名： 富良野市 中小企業</p>	<p>富良野市</p>	<p>市内金融機関の窓口を通じて、市内の事業者やこれから事業をしようとしている方への融資や保証料および利子の一部に対して助成</p>		

<p>資金融資制度</p> <p>内容： 市内事業への融資、保証料及び利子への一部補助</p> <p>実施時期 H14年度～</p>		<p>を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中小企業振興資金   運転資金・設備資金 限度額 1,000 万円以内</li> <li>・商工パワーアップ資金   種類       <ul style="list-style-type: none"> <li>○チャレンジ   運転資金・設備資金 限度額 1,000 万円以内</li> <li>○共同施設資金   運転資金・設備資金 限度額 1,000 万円以内</li> <li>○商店街等活性化資金   運転資金 限度額 500 万円以内   設備資金 限度額 3,000 万円以内</li> <li>○情報近代化資金   設備資金 限度額 3,000 万円以内</li> <li>○土地購入資金   土地取得資金 限度額 3,000 万円以内</li> </ul> </li> <li>・小口緊急特別資金   運転資金 限度額 500 万円以内</li> </ul> <p>本市における中小企業に対し適切な助成と自主的な努力を助長することで、中小企業者等及び従業員の経済的、社会的地位の向上に資して中小企業等の振興を図るものであり、中心市街地の活性化には必要な事業である。</p>		
<p>事業名： 富良野市中小企業振興総合補助金</p> <p>内容： 商業振興を図るため市内中小企業の事業実施を後押しする補助事業</p> <p>実施時期 H24年度～</p>	<p>富良野市</p>	<p>本事業は、中心市街地区域を中心に市内商工業振興を目的として、新規出店者の誘致拡大及び既存中小企業の事業実施を後押しするために各種補助事業を実施し、魅力ある商店街形成に寄与する必要な事業である。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・店舗等新築改修費補助</li> <li>・新規出店家賃補助</li> <li>・新事業新製品新技術開発支援事業</li> <li>・人材育成促進事業</li> <li>・新規イベント支援事業</li> <li>・情報発信PR支援事業</li> <li>・マーケティング・サービス改善支援事業</li> <li>・LED街路灯整備モデル事業</li> <li>・新規開業・新事業展開支援事業</li> </ul>		

<p>事業名： DMO拠点整備事業</p> <p>内容： リノベーションしたビルの床の一部を取得し「(仮)ふらの版DMOセンター」を設置する</p> <p>実施時期 H29年度</p>	<p>富良野市</p>	<p>本事業は、「フラノ・コンシェルジュ」整備事業において整備された空き店舗ビルの2階フロアを富良野市が取得し、「ふらの版DMO（広域観光をマネジメントする戦略集団）センター」を設置し、着地型広域観光戦略を展開するために、関係団体を集約し、富良野地域観光による賑わいの創出とまちなか回遊による中心市街地の活性化に必要な事業である。</p> <p>建築構造：鉄筋コンクリート</p> <p>2階フロア面積 1,085.01 m<sup>2</sup>(328.21坪)</p> 	<p>実施時期 平成29年度</p>	
--	-------------	---	------------------------	--

## 8. 4から7までに掲げる事業及び措置と一体的に推進する事業に関する事項

### [1] 公共交通機関の利便性の増進及び特定事業の推進の必要性

#### I 現状分析

富良野市は完全な車社会と言っても過言ではなく、日常の生活に自動車は欠かせないものとなっている。しかし今後の到来する高齢化社会においては公共交通機関、特にバスに対する市民ニーズは高まるものと考えられる。

市内路線バスの利用は平成13年度と平成24年度を比較すると、年間1日当たり利用者数で52.9%減少しており、平成24年度1日当たりの平均利用者数は542人である。これは、路線バスは郊外の市街や農村集落とJR富良野駅とを結ぶ単線的なルートとなっているため、現在の市民ニーズに適応していないことが要因であると考えられる。

このことが市民アンケート調査として、144人が公共交通(バス)の利便さを求めている。(※複数回答設問であるが、有効回答数で割ると約33%の市民が求めている。)

#### II 公共交通機関の利便性の増進及び特定事業の推進の必要性

少子高齢化や環境問題など社会状況に対応するためには過度に自動車に依存した日常生活を見直し、自転車、歩行者を優先した、利便性が高く使いやすいバス施策を展開していくことが必要である。

##### ■地域公共交通確保維持改善事業

[ 2 ] 具体的事業の内容

( 1 ) 法に定める特別の措置に関連する事業

該当なし

( 2 ) ①認定と連携した支援措置のうち、認定と連携した特例措置に関連する事業

該当なし

( 2 ) ②認定と連携した支援措置のうち、認定と連携した重点的な支援措置に関連する事業

該当なし

( 3 ) 中心市街地の活性化に資するその他の支援措置に関連する事業

事業名、内容及び実施時期	実施主体	目標達成のための位置付け及び必要性	支援措置の内容及び実施時期	その他の事項
<p>事業名： 地域公共交通確保維持改善事業</p> <p>内容： 地域間幹線系統路線の維持を図るためにバス事業者への補助を行う。</p> <p>実施時期 H23～32年度</p>	<p>ふらのバス(株)</p>	<p>本事業は、地域間幹線系統路線維持を図るために、北海道上川地域生活交通確保対策協議会で認定されている「ふらのバス(株)」に対し、国及び北海道が維持費補助を行う事業で、公共交通機関を活かしたまちづくりを進め、中心市街地への集客性を高め、賑わい創出を目標とする中心市街地の活性化に必要な事業である。</p>	<p>支援措置 地域公共交通確保維持改善事業費補助</p> <p>実施時期 平成23年度～ 平成31年度</p>	

(4) 国の支援がないその他の事業

事業名、内容及び実施時期	実施主体	目標達成のための位置付け及び必要性	国以外の支援措置の内容及び実施時期	その他の事項
<p>事業名： 「おでかけバス(仮称)」推進事業</p> <p>内容： コミュニティーバス市民アンケート 調査・分析 ・研究会開催・試算研究・試験運行実施</p> <p>実施時期 H21 年度～</p>	<p>コミュニティーバス株式会社</p>	<p>本事業は、少子高齢化や環境問題など社会状況に対応するためには過度に自動車に依存した日常生活を見直し、自転車、歩行者を優先した、利便性が高く使いやすいバス施策を展開していくために実現に向けた研究を行う事業である。</p> <p>中心市街地への集客性を高め、賑わい創出を目標とする中心市街地の活性化に必要な事業である。</p> <div data-bbox="550 873 1260 1478" style="text-align: center;"> </div>		
<p>事業名： 広域生活交通路線維持費補助事業</p> <p>内容： 生活交通路線の維持を図るためにバ</p>	<p>ふらのバス(株)</p>	<p>本事業は、広域生活交通路線維持を図るために、北海道上川地域生活交通確保対策協議会で認定されている「ふらのバス(株)」に対し、北海道及び市が維持費補助を行う事業で、公共交通機関を活かしたまちづくりを進め、中心市街地への集客性を高め、賑わい創出を目標とする中心市街地の活性化に必要な事業である。</p>		

<p>ス事業者への補助を行う。</p> <p>実施時期 H14 年度 ～</p>				
<p>事業名： 市生活交通路線維持対策事業</p> <p>内容： 生活交通路線の維持を図るためにバス事業者への補助を行う。</p> <p>実施時期 H14 年度 ～</p>	<p>ふらのバス(株)</p>	<p>本事業は、市生活交通路線維持を図るために、北海道上川地域生活交通確保対策協議会で認定されている「ふらのバス(株)」に対し、経常支出が経常収益を上回る路線で、経常収益と経常支出の差額を市が補助し、公共交通機関を活かしたまちづくりを進め、中心市街地への集客性を高め、賑わい創出を目標とする中心市街地の活性化に必要な事業である。</p>		

◇ 4から8までに掲げる事業及び措置の実施箇所

